

12 肝移植後の日常生活

レシピエント【移植手術を受けた方】の退院後の生活

① 拒絶反応

拒絶反応という言葉は非常に怖いものに聞こえるかもしれませんが、これは移植後に起こりやすい反応で、比較的頻度が高いものです。

移植をうけられた患者さんの体内の免疫機構が、新しい肝臓を外部からの異物と判断して攻撃しようとすることから起こります。拒絶反応は、移植後7～90日の間に起こることが多いです。

〔症状〕

1. 発熱：38度以上の高熱
2. 腹痛：特に上腹部の痛み
3. 活気が乏しくなる・不機嫌が続く
4. 腹部が大きくなる(腹水の出現)
5. 食欲が減退する
6. 尿の色が濃くなる
7. 便の色が薄くなる
8. 体がかゆくなる
9. 黄疸(目や皮膚が黄色くなる)

拒絶反応は、感染症や血管あるいは胆管の閉塞などと鑑別が困難なことがあります。それを確認する為に、入院をして肝生検や治療が必要になる場合があります。

拒絶反応の程度によって治療法が異なります。したがって上記のような症状がある場合にはご相談いただき、必要時は救急外来に早期に受診をするようにしてください。

② 感染症

移植後は拒絶反応を防ぐために免疫系を抑制する「免疫抑制剤」を服用しているので、感染症に注意が必要です。日常生活においては「手洗い」「うがい」を励行することが大切です。また感染の兆候や症状についても知っておくことが大切です。



〔注意すべき兆候と症状〕

1. 発熱：38度以上の高熱
2. 咳：肺や上気道に病原体がいることを示している場合があります
3. 皮膚や傷口の異常：赤く腫れて熱をもっている
※傷口が病原菌に感染している場合があります
4. 発疹：小児の罹り易い発疹性疾患の可能性があります
※麻疹、風疹、水痘、突発性発疹、溶連菌感染症など
5. 下痢・腹痛：胃腸炎の可能性があります

以上のような兆候や症状が現れたり、感染症を疑う場合には、担当医もしくはレシピエント移植コーディネーター(以下コーディネーターと略称)までお知らせください。

水痘を発症した人と接触した場合は予防投薬が必要になります。P29の(2)肝移植後に日